

Art Writing No.6 2012

本誌は、筑波大学芸術専門学群芸術学専攻芸術支援コース専門科目「芸術支援学IC」の一環として、学生たちが取材した記事をまとめたものです。特集1「芸術支援フロンティア」では、現代社会における様々な芸術支援の現場を伝えます。特集2「つくばアートフィールド」では、筑波大学で今育ちつつあるアーティストを紹介しします。

学生の取材に当たり、多くの皆様にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

直江俊雄

— 主な学外協力者(順不同) —

- 宇津伸 (Nobu's Gallery&Café)
- 阿部愛美 (「PARTNER」編集長)
- 加藤晃央 (株式会社モーフィング取締役会長)
- 中村桃子 (美術監督)
- 小川希 (TERATOTERA チーフディレクター)
- 浅井裕介 (アーティスト)
- 和田昌宏 (アーティスト)
- タムラサトル (アーティスト)
- SONTON (アーティスト)

Contents

特集1 芸術支援フロンティア

Nobu's Gallery へようこそ! P.02
金沢 みなみ P.04

あなたとわたしの PARTNER
フリーペーパーで表現する世界 P.05
辻 真理子 P.07

TERATOTERA
今、町に必要なモノ P.08
菊地 美里 P.10

特集2 つくばアートフィールド

Artist x Writer

漫画の描ける普通人 P.11
A 大上 恵司 × W 井上 祐里 P.13

テキスタイルアートの表現
額から飛び出した独創的な世界 P.14
A 板垣 あかり × W 川村 晃子 P.16

芸術学生の頭の中
なぜ芸術を「大学」で学ぶのか? P.17
A 原田 多鶴 × W 池田 寛子 P.19

伝えたい物語 伝わる物語
パステルで描く世界 P.20
A 青野 広夢 × W 名古屋 千尋 P.22



金沢 みなみ
KANESAWA Minami
筑波大学芸術専門学群
芸術学専攻芸術支援コース3年

Nobu's Gallery へようこそ!

Nobu's Gallery&Café は茨城県笠間市にある貸しギャラリーである。地方にあるギャラリーの役割とその魅力を探るべく、ここをひとりで運営する宇津伸(うつのぶ)さんにお話を伺った。

— 笠間でギャラリーをやることになったきっかけを教えてください。



● Nobu's Gallery&Café

宇津 ここ七年目なんですけど、隣で夫がギターの販売と修理の仕事をしてるんです。水戸で20年やってたんですけど、夫の実家が笠間で、のちのちには笠間に帰ってくるっていう目的をもってたんです、夫はね。わたしははっきり言ってあんまり来たくはなかったんですけど(笑)。だけど現実問題として笠間に来るということになって、わたしは水戸にいるときはずっとパートで仕事をしてましたから、それも辞めなきゃいけないし、何かしなくちゃいけないと思って。

わたしは美術が好きだったんです、もともとね。見るのも好きだったし、だからそういう関係のものをやりたくて、最初はちょっとしたショップにしようかなあとか、笠間だから笠間焼のお店にしようかなあとか考えたけど、そういうのはわたしが来る前からもう何件もあるじゃないですか。それだったら、みなさんに使ってもらえるギャラリーにしたらどうだろうと思って、そこから始まったんですよね。

特集1 .. 芸術支援フロンティア